

こんにちは!

No.172
令和3年5月1日

しばた議会です



- 18人の新体制スタート
- 令和3年度当初予算決まる



「議会ネット中継」への
QRコード

※詳しくは、柴田町ホームページ
を参照してください。

令和3年4月1日
初議会開催

議員活動 新体制スタート

議員名の下のQRコードにアクセスすると、それぞれの議員の想いがみられます。

議長
高橋 たい子 (4期目)



2期目の議長を拝し、役割と責任の重さに身の引き締まる思いでございます。



今、柴田町では、防災などの生活環境整備を始めとする課題が山積している中で、新型コロナウイルス感染症の発生が追い打ちをかけています。私たち議会は、これらに対し、町民の皆様の声を謙虚に受け止め、議会と行政が両輪のごとく一体となって取り組む所存です。

「小さな気付き」を大切に、できることからひとつずつを合言葉に、議会の歩みを進めてまいります。

副議長 平間 奈緒美 (4期目)
総務 議会広報



副議長の大任を拝し、責務の重大さに身の引き締まる思いです。副議長として高橋議長を補佐し、円滑な議会運営に努めるとともに、初心を忘れずに、開かれた議会、身近な議会を目指してまいります。



議会選出の議員

- 仙南地域広域行政事務組合議会
大坂 三男
- みやぎ県南中核病院企業団議会
吉田 和夫 白内恵美子
- 後期高齢者医療広域連合議会
安藤 義憲
- 議会選出監査委員
森 裕樹



小田部 峰之 (1期目)

文教厚生
議会広報



吉田 清 (1期目)

産業建設
議会広報



伊東 潤 (1期目)

文教厚生
議会広報



石森 靖明 (1期目)

総務
議会広報





さくま みつひろ
佐久間 光洋 (2 期目)
産業建設



あんどう よしのり
安藤 義憲 (2 期目)
○産業建設



かとう しげる
加藤 滋 (2 期目)
文教厚生
◎議会広報
議会運営



もり ゆうき
森 裕樹 (2 期目)
産業建設



あきもと よしのり
秋本 好則 (3 期目)
◎産業建設



よしだ かずお
吉田 和夫 (3 期目)
文教厚生
○議会運営



さくらば まさゆき
桜場 政行 (3 期目)
◎文教厚生



ひらま ゆきひろ
平間 幸弘 (3 期目)
◎総務
○議会広報
議会運営



しらうち えみこ
白内 恵美子 (6 期目)
総務



ひろさわ まこと
広沢 真 (5 期目)
産業建設
◎議会運営



ささき ゆうこ
佐々木 裕子 (4 期目)
○文教厚生
議会運営



おおさか みつお
大坂 三男 (3 期目)
○総務
議会運営



◎は委員長、○は副委員長を示しています。

までに・雨水対策工事も拡充

2月会議は2月15日から3月3日までの日程で開催されました。議案は、令和3年度各種会計予算のほか、人事案件3件、条例の制定及び改正7件、令和2年度各種会計補正予算などを審議し、いずれも全会一致または賛成多数で可決しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の防止のため、2月会議は可能な限り日程を短縮して実施したことで、一般質問は、文書のみでの実施となりました。

注目事業

子ども医療費助成事業

予算総額：1億3,024万円

事業内容：子どもの適正な医療機会の確保と子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、これまで15歳までだった医療費の助成を、10月から18歳までに対象年齢が拡大されます。

私も一言



ふなやま ひろみ
船岡 舟山 洋美さん(写真右)

義務教育を経て少しだけ大人な3年間に新たに与えられる受給者証。町の政策に感謝します。



私たちも医療費助成の対象に

注目事業

雨水対策事業

予算総額：3,661万円

事業内容：大雨による浸水・洪水を防ぐための雨水対策工事や排水ポンプ設置などを実施します。

実施箇所：西船迫一丁目地区、船岡大住地区、下名生剣水地区

私も一言



ふなやま さちこ
西船迫 舟山 幸子さん

昨年、地域防災出前講座を受講し、災害危険の実情を改めて理解しました。安心・安全な町になることを期待します。



雨水対策工事が実施される下名生剣水地区(上)と西船迫1丁目地区(下)

令和3年度 一般会計予算 130億6,000万円

子ども医療費助成が18歳

注目事業

総合体育館実現可能性調査委託事業

予算総額：1,794万円



町民にとって使いやすい総合体育館の建設が待たれる

事業内容：総合体育館建設について、官民連携手法の導入など様々な手法のメリット・デメリットを検討し、町に合った手法を選択します。その手法については令和4年3月に議会で判断する予定。

私言



西船迫

大沼 おおのま

博行さん ひろゆき

官民連携手法の検討は、多角から検討でき歓迎します。健康寿命アップと防災を両立した総合体育館の早期供用をお願いします。

注目事業

コンビニでの証明書交付システムの導入

予算総額：4,383万円

事業内容：住民票などの証明書発行は、これまで役場や槻木事務所の窓口に限られていましたが、マイナンバーカードがあればコンビニエンスストアで発行が可能となります。



近くのコンビニで証明書の発行が可能

私言



おおひさ ゆうき
剣崎 大久 勇氣さん

授業や部活で役場に行けない時も、コンビニで証明書を発行できるのは助かります。他の手続きもオンラインでできると助かりますね。

2月会議
日程

15日(月) 施政方針、議案説明 18日(木) 議案審議 19日(金) 総括質疑
3月3日(水) 予算審査委員長報告、討論、採決、追加議案
※一般質問は書面のみ ※2月19日から3月3日(午前)までは予算審査特別委員会

○ 保健・健康・福祉事業

- みやぎ県南中核病院企業団負担金及び出資金 …………… 5億1,064万円
- 各種検診委託料 …………… 9,009万円
- 後期高齢者医療事業 …………… 4億4,451万円
- 高齢者・乳幼児等予防接種委託料 …………… 9,549万円

私言



しまづ たかし
船岡中央 島津 孝さん

コロナ感染予防に対して油断しやすい地域だと思います。だからこそ正しく恐れて予防できる柴田町民ならではのスタイルを構築したいものです！

○ 暮らし・安全対策事業

- 排水作業等委託料 …………… 1,083万円
- 阿武隈川水系五間堀川他緊急しゅんせつ委託料 …………… 3,050万円
- 都市公園等維持管理事業 …………… 6,944万円
- 小型消防ポンプ付積載車 …………… 656万円
- デマンド交通運行事業補助 …………… 2,371万円

私言



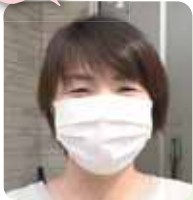
むらかみ ただし
槻木下町 村上 格さん

住宅地内の交差点には、車両の優先度を示す交通標識(止まれなど)がない所が多く危険を伴う。事故防止の対策が欲しい。空き家が増加しているので、安全管理指導を。

○ 土木・農林水産事業

- 木造住宅耐震改修工事助成事業補助 …………… 500万円
- スクールゾーン内危険ブロック塀等除却事業補助 …………… 600万円
- 一般町道維持管理事業 …………… 8,121万円
- 槻木駅前広場景観形成工事 …………… 393万円

私言



ささき ゆみ
槻木白幡 佐々木 由美さん

大雨の度に不安な思いをしています。冠水対策として側溝整備を早急に進めていただきたいです。

○ 商工・観光事業

- 白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業 …………… 520万円
- 「花のまち柴田」ガーデンフェスタ開催事業補助 …………… 450万円
- 起業家育成支援等事業補助 …………… 100万円
- 飲食店等利用拡大応援事業補助 …………… 400万円

私言



さとう せいいち
船岡西 佐藤 誠一さん

船岡城址公園や太陽の村などに、年間を通して楽しめる花木の植栽や年配者にも優しいウォーキングコースにベンチがあってもよいのでは。

○ 教育・子育て事業

- 学び支援コーディネーター等配置事業 …………… 198万円
- 柴田町英語学習推進事業 …………… 237万円
- 児童手当支給事業 …………… 5億2,606万円
- 地域子育て支援拠点事業補助 …………… 338万円
- 小中学校情報学習機器リース料 …………… 2,930万円

私言



たいら あい
槻木上町 平良 愛さん

児童館の利用条件やルールの明確化、受け入れ態勢をさらに拡充し、誰でも安心して利用できる体制を作ってほしい。



GIGA スクールに向け、先生方も使い方をマスター

新年度予算・施政方針などに関する

総括質疑



財政状況は



白内恵美子 議員



問 令和3年度一般会計の予算要求額と歳入見込み額との差額は。

答 予算編成過程で約9億9千万円あり、歳入では国県の補助事業や有利な起債、ふるさと納税を充当。歳出では事業規模や内容の見直し、先送りや圧縮。多額の寄附金がなければ、3〜4億円規模での住民サービスや生活環境整備、水害対策となり、大型プロジェクトは遅れる。ふるさと納税により、子ども医療費助成対象を18歳までに拡大し、戸籍や住民票などのコンビニ交付の前倒しができた。

問 ふるさと納税に頼る財政運営に危機を感じる。財源確保を考える委員会を立ち上げるべきでは。

答 令和2年度ふるさと納税は約17億円で、実質使えるのは8億5千万円。新たな財源を探すことは専門家でも無理。ふるさと納税を増やすため、プロモーション活動を強化するほうがポジティブであり、有効性が高いと考える。

コロナ対策3年度予算は

問 コロナ禍において、待ったなしの対策が求められている。令和3年度予算に反映しているのか。

答 令和3年度予算編成が完了した1月時点では、国から詳細が示されてなかったため、当初予算に反映することができなかった。今後、補正予算で対策していく。

これからの観光まちづくりは

問 コロナ禍により観光に対する考え方や在り方が変化している。稼ぐまちづくり、観光まちづくりへの展開について問う。

答 ウィズコロナ期を将来の観光需要回復に向けた「助走期間」と位置づけ、アフターコロナ期の観光トレンドの変化を見定めながら、より安全で集客力の高い観光戦略を展開していく。地域の活性化、交流人口や関係人口の拡大、さらなるふるさと納税の大幅な増加につなげる「稼ぐまちづくり」を進めていく。



平間奈緒美 議員



森林環境整備は



佐々木裕子 議員



問 森林環境譲与税を活用して、どのような森林整備を考えているのか。

答 所有者に代わって管理を行う「新たな森林管理システム」に取り組み、良好な森林環境を創出、維持する。

荒廃が進む民有林のうち、人工林については、所有者の意向を確認しながら、森林環境が保たれるよう、間伐などの管理を進めていく。

3年度は、意向調査を実施するための森林区分や、優先順位を決める基礎資料を作成する。また、年次計画も併せて策定する。

一本杉町営住宅西側ブロックは

問 西側ブロックの建て替えは。

答 当面休止したいと考えている。

問 二本杉公園整備が予算計上されている。これは東側ブロックの最後の事業として実施されるのか。

答 二本杉公園を整備することで、すべて完了する。

令和3年度一般会計・特別会計予算 予算審査特別委員会

大切なみんなの

税金

ちゃんと使ってますか？

2月19日から3月3日まで、予算審査特別委員会を開催しました。執行部から提案された、令和3年度一般会計予算、各種特別会計予算についての質疑があり、税金の使い方を審査しました。

歳入

コロナ禍での町税確保の見通しは？

質疑 町税収入が前年度比で1億676万円の減額となっているが、この程度の減額で済むのか。

答弁 新型コロナの影響での減額を見通しているが、リーマンショック時のことも勘案しながら予算を計上した。見通せない部分はあるが、減収分については国の動向を見ながら対応したい。

ふるさと柴田応援寄附金がなかったら

質疑 寄附金収入額が落ち込んだ場合の代替案はあるのか。

答弁 当年度の寄附金収入額が直ちに財政に影響することはない。寄附金が減収した場合には翌年度の予算編成で考慮することになる。

歳出

総務課

小型消防ポンプを購入・配備

質疑 新たに購入する小型消防ポンプの配備先は。

答弁 消防団第3分団14班（海老穴）に配備する予定。

まちづくり政策課

運転技術向上トレーニングアプリの活用方法は

質疑 運転技術向上アプリとはなにか。また、その活用方法は。

答弁 高齢者の運転による交通事故防止のためのアプリ。2台購入する予定で、1台は高齢者の方が集まる場所に設置し、もう1台は出前講座などでの活用を検討している。



脳トレを応用した運転技術トレーニングアプリ

まちづくり政策課

フットパス事業の委託は

質疑 フットパス事業の委託内容は。

答弁 プロモーション活動やフットパスサポーターの活動支援、コースの整備調査費など。まちづくり全般についての支援も行う、しばたの未来株式会社に委託する。

財政課

役場庁舎の光熱費は

質疑 改修工事が始まったことにより、冷暖房がエアコンに切り替わるが光熱費は以前より削減できるか。

答弁 実際に運用してみないと分からないが、東北電力との割引契約やエアコンの運用方法の工夫などで節約に努めていきたい。

子ども家庭課

保育所の民営化は

質疑 保育所民営化ガイドラインの作成はいつごろか。
答弁 ガイドライン作成に先立ち、町の保育所の在り方、再整備の方針などをまとめ、その内容をもとに令和3年度に作成を進めたい。

健康推進課

健康しばたサポーターの養成は

質疑 「からだ測定会」などの保健事業に協力いただく「健康しばたサポーター」の養成計画は。
答弁 中学校区ごとに5人から10人の養成を考えている。



サポーターは健康事業推進に欠かせない存在

農政課

里山ビジネスの計画は

質疑 里山ビジネス振興協議会の事業計画は。
答弁 里山ハイキングや野菜の収穫、餅つきなどを計画している。また、社員研修として町内を使っていたり、企業との研修受け入れ態勢の整備なども計画している。

商工観光課

観光費は全部でいくら?

質疑 全体の予算の中のどのくらいが観光に関する費用に充てられているのか。
答弁 観光整備費という科目で計上できるものだけではなく、観光に充てる部分を明確に線引きすることが難しい科目もあるため、一概に示すことは難しい。

教育総務課

柴田小学校の学級編成は

質疑 小規模特任校制度が導入されるが、複式学級は解消されるのか。
答弁 5人が入学・転入することになった。町単独で雇用する教諭1人、県からの加配1人により全ての学年でクラスを編成でき、複式学級は解消される。

生涯学習課

埋蔵文化財の発掘は

質疑 中名生七草地区での発掘作業では、どの時代に相当する遺跡の発掘を想定しているのか。
答弁 平成30年の確認調査では土器、柱穴、溝などが発掘されている。令和3年度の本調査では、1千760平方メートルの調査区面積を、確認調査時よりさらに深く掘ることによって、どの時代の埋蔵物なのかを確認する。

スポーツ振興課

運動スポーツ習慣化促進事業の状況は

質疑 運動スポーツ習慣化促進事業は、今後どのように展開する予定か。
答弁 仙台大学に委託して行う予定。「運動普及リーダー養成講座」と、お茶を飲みに行くような感覚でスポーツを楽しめる「町ジム運動スポーツカフェ」の本柱で実施していく。



仙台大学の学生から指導を受ける参加者

政策サイクル

令和3年度予算《徹底検証》

令和3年度予算において、令和元年度決算に対する提言がどう反映されたか、予算審査特別委員会で徹底検証を行いました。

令和3年度予算について、議論中

 <p style="background-color: green; color: white; padding: 5px;">総務分科会</p> <p>主なもの ふるさとしばた応援寄附金 デマンドタクシーの見直し</p>	 <p style="background-color: green; color: white; padding: 5px;">文教厚生分科会</p> <p>主なもの 新体育館建設手法 小中学校の楽器の状況</p>	 <p style="background-color: green; color: white; padding: 5px;">産業建設分科会</p> <p>主なもの アフターコロナの環境整備 水害対策</p>
--	---	--

予算質疑、ワールドカフェ、分科会、全体での委員間討議を踏まえて

<p style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-weight: bold;">提言</p> <p style="text-align: center; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">総合体育館建設に係る 実現可能性調査コンサル委託について</p> <ol style="list-style-type: none"> ①建設手法等の検討過程の透明化を図るため、「検討委員会」を公開し、議会や住民の傍聴を可能にすること。 ②手法決定に当たっては、建設コストだけではなく運営コストを含めた将来の財政に与える影響や住民の利便性などあらゆる面から検討し、その結果を議会や住民に詳しく示すこと。 	<p style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-weight: bold;">要望</p> <p style="text-align: center; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">地域公共交通活性化事業について</p> <p>町民の利便性の向上を図るため、これからの地域公共交通の在り方として、主に以下にあげる点について検討されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デマンド型乗合タクシーの予約方式の改善など委託内容の見直し • 循環バスの運行への変更や、デマンド型と循環バスの併用 • 中核病院利用者の交通手段調査や、デマンド型乗合タクシーが乗り入れた時の大河原町、柴田町のタクシー業者への補償の試算
--	---

予算審議で出た項目について、今後の常任委員会で、調査研究していきます

<p style="text-align: center; font-weight: bold; color: green;">総 務</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆水害対策について ☆地域おこし協力隊について ☆起債・補助金の活用について など 	<p style="text-align: center; font-weight: bold; color: green;">文 教 厚 生</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆学校備品について ☆柴田小学校（小規模特認校）について ☆文化面の支援について など 	<p style="text-align: center; font-weight: bold; color: green;">産 業 建 設</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆アフターコロナの観光政策について ☆水害対策について ☆北船岡町営住宅建て替え事業について など
---	---	---

討論

令和3年度一般会計予算

私はこう考える



賛成

討論

課題に前向きな予算

平間 幸弘 議員

財源確保が難しい予算編成の中、雨水対策やコロナ禍における地元経済対策、学習環境整備、コンビニ交付開始の経費などを計上している。住民サービスの利便性向上と本町の課題に前向きな予算措置がされている。

反対

討論

明確な目標と完成形を示せ

秋本 好則 議員

船岡城址公園工事が脈絡なく続いている。公共事業は、明確な目標と完成形を示すべき。町長にしか完成形がわからなければある意味、公私混同。観光政策も工程や目標がわからない以上、予算案が妥当か判断できない。

賛成

討論

福祉や教育に重点

佐々木 裕子 議員

町税収入の減少と人件費など義務的経費が増加する中でも、福祉や教育に重点を置いた予算編成。災害対応を基本政策に据えながらも住民サービスの向上を図り、地域課題解決に向け着実に取り組む内容である。

反対

討論

水害対策を重点目標の第一に

白内 恵美子 議員

厳しい財政状況が続いている。ふるさと納税は今後の大型事業や災害対策に備え積み立てを。水害対策を重点目標の第一に掲げるべき。観光にかかる総経費は1億円超、コロナ収束まで大幅に削減すべき。

●予算審査特別委員会出欠状況

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数(人)	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間 奈緒美	佐々木 裕子	安部 俊三	森 淑子	広沢 真	有賀 光子	舟山 彰	白内 恵美子	水戸 義裕	高橋 たい子	
出欠状況	正副委員長の互選等、委員間討議	2.19	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和3年度予算審議(質疑)	2.22、24、25	16	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和3年度予算審議(委員間討議)	2.26	16	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和3年度予算審議(委員間討議等)	3.1~3	16	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。
※議長は予算審査特別委員にはならない。



議案第 64 号

柴田町景観条例の制定

※詳しくは宮城県のホームページから「仙南地域広域景観計画」で検索



質疑 なぜ7月1日施行なのか。
答弁 新規条例でもあり、県からは、パンフレットを全戸配布するなど、最低3カ月の周知期間を設け、仙南で統一した施行日にするよう協議がなされている。

施行日が先なのは

質疑 制限となる高さや面積など、条例には具体的な記載がないが。
答弁 今回は県の条例を担保する運用条例である。高さなどについては規則で定める。

具体的な数値は

柴田町景観条例は、県が令和2年12月11日に仙南2市7町を対象区域として策定した、仙南地域広域景観計画で定めた行為の制限を行ううえで、必要な根拠を定めるものです。
 県の計画に基づき、景観区域内の建築物や工作物、開発行為を行う場合など、町に対して届け出が必要になります。(令和3年7月1日から施行)

討論
 私はこう考える

行政の押し付けだ

反対討論

秋本 好則 議員

条例の目的に掲げる「良好な景観とは何か、何が愛着と誇りを感じる景観なのか」、最初に町民の共通認識を確認し、民意を集約すべき。これを決めるのは町民であり、行政が押し付けるものではない。

30年後の仙南地域 を見据えて

賛成討論

桜場 政行 議員

条例の目的は、仙南2市7町の30年後の景観をすばらしくする条例である。計画策定に3カ月以上の時間をかけ、都市計画審議会委員や町民からの意見を聞き制定する。将来の仙南地域を考えると、この条例は必要である。

議案第 68 号

介護保険料が引き上げ

コロナ禍の介護サービスは

質疑 コロナ禍で、介護もサービスの給付が減っているのでは。

答弁 令和元年度との比較では、デイサービスなどの通所系と施設系は減っているが、訪問介護など訪問型は増えており、総給付費は0.5割増を見込んでいる。

軽減措置の継続は

質疑 令和5年までは低所得者に対し、保険料の減額がある。その後も継続されるのか。
答弁 令和3年度以降も軽減を継続する。これは、平成27年の介護保険法の改正で、消費税を原資とした公費投入であることから、今後も継続すると考えている。

討論

私はこう考える

保険加入者に打撃

反対討論

広沢 真議員

介護保険料の引き上げは、保険加入者の打撃になる。国の負担率が上がらなければ年々厳しくなるのは理解しているが、町民に影響がある。

保険制度の 持続に必要

賛成討論

加藤 滋議員

現在、県内では6番目に低い保険料である。高齢化社会における介護保険制度は、高齢者の生活に欠かせない制度として定着している。介護保険の安定的な運営、持続可能な制度として必要な改正である。

段階	要件	保険料 (年額 : 円)	
		第7期 (改正前)	第8期 (改正後)
第1段階 (軽減層)	生活保護世帯 世帯全体が町民税非課税で老齢福祉年金受給者 または前年の年金収入が80万円以下の方	32,400	33,600
第5段階 (基準額)	本人が町民税非課税 (世帯に課税者あり) で 前年の年金収入が80万円超の方	64,800	67,200
第9段階	本人が町民税課税で 前年の年金収入が300万円以上の方	110,160	114,240

(一部抜粋)

第8期介護保険計画の期間となる令和3年度から5年度までの介護保険料率を定めました。

2月
会議

議案第 76 号

令和 2 年度一般会計補正予算

2月13日発生地震に対応

2月13日に発生した福島県沖の地震。土木施設では町道64カ所、公園7カ所。社会教育施設では西住公民館建物周囲の地盤陥没。学校施設では船岡小学校、槻木小学校、船迫小学校。その他、船岡駅コミュニティプラザなどの災害復旧費を補正しました。復旧工事はいずれも令和3年度で実施します。

JR船岡駅の天井落下

質疑 船岡駅は町とJRの共同管理である。今回の災害復旧工事設計委託は町で行うのか。

答弁 今回の天井板落下は町管理施設部分である。JR側では被害が発生していない。現在、復旧方法を設計業者と相談しており、さらに耐震性を持たせた復旧に務める。

JR船岡駅の躯体に影響はないのか

質疑 現状は天井板の落下だが、構造体として見た場合、全部一体であり、躯体や地下などはJR側とつながっている。影響は。

答弁 躯体や屋根材について、その歪みなど詳細はこれから調査。JR側にも影響がある場合は、協議をしながら工事を進めていく。



地震により天井板が落下した JR 船岡駅 (2月18日撮影)

議案第 69 号

JR 船岡駅前に「ポケふた」あるよ！

柴田町にも「ポケふた」が

質疑 観光整備費とし、ポケモンマンホール設置工事が計上されている。どこに設置するのか。
答弁 JR船岡駅南口に設置される。駅の改札から駅前方面に進すると階段があるが、その階段の上から見える場所になる。



人事案件

○人権擁護委員の推薦

木島 基子氏(再任) (西船迫2丁目)

○固定資産評価審査委員の選任

笠松 富一夫氏(再任) (下名生字前田)



武山 昭彦氏(新任)
(北船岡1丁目)

近年、地方議会が果たす役割も多様化、高度化しており、会派及び議員の政務活動の重要性が高まっています。また、使用実績では、多くの議員が交付額を超えた活動を行っていることから、今回、改正を行いました。

昨年度は、4月に交付されましたが、他市町への視察研修などが実施できないことや、町のコロナ対応に役立ててもらった観点から、議員全員了解の下、年度末に全額を町に返金しています。

議発第 4 号

政務活動費を改正

月額4,000円が



月額10,000円に

令和3年4月1日から

槻木中学校西校舎と 体育館の大規模改修工事 請負変更契約

1億3,902万円(2,715万円増)

工事の一部に変更が生じたため、契約の変更を行いました。

- ・西校舎外壁補修の数量増
- ・屋根カバー工法の工種変更など



全小中学校に各1台配置 3Dプリンタ

854万円



児童・生徒が描いたものを3Dプリンタで立体的な形にすることで、授業への積極性を高めるツールとして活用します。

1月会議

1月25日開催

1月会議では、報告6件、議案4件が審議されいずれも原案どおり可決しました。

4月会議

4月18日開催

新型コロナワクチン 集団接種 大枠決まる

4月会議では、新型コロナウイルス感染症ワクチン集団接種費用を含む、令和3年度一般会計補正予算が提案され、全会一致で可決しました。

ワクチン接種について
十分な説明を

質疑 ワクチン接種の進め方は大丈夫なのか

答弁 シミュレーションを行い、随時高齢者施設から行う。5月中旬を予定している。

質疑 町民への周知は

答弁 医師などの協力を得ながら、ワクチンの確保を注視し、広報などに随時掲載する。

質疑 接種場所への移動手段は

答弁 バス輸送など、現場のニーズに沿った体制構築に全力で取り組む。

ワクチン集団接種の流れ



本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議出欠状況及び審議結果一覧（1月会議、2月会議）

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数 △	賛成 △	反対 △	議決結果 △	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	平岡 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平岡 奈緒美	佐々木 裕子	安部 俊三	森 淑子	広沢 真	有賀 光子	舟山 彰	白内 恵美子	水戸 義裕	高橋 たい子
本会議	専決処分報告、議案審議（契約、財産の取得、補正予算）	1.25	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町政報告、施政方針、議案審議（人事案件等）、議案説明、一般質問	2.15	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案審議（条例、補正予算等）	2.18	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度予算上程・総括質疑	2.19	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度予算採決、追加議案、意見書案	3.3	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	議案番号	月日	出席者数 △	賛成 △	反対 △	議決結果 △	石森 靖明	伊東 潤	吉田 清	小田部 峰之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久間 光洋	平岡 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々木 裕子	広沢 真	白内 恵美子	平岡 奈緒美	高橋 たい子	
審議結果	議案第51号～54号	1.25	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議決第4号	2.15	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	諮問第3号	2.15	18	17	0	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議案第62号～63号	2.15	18	17	0	選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第64号	2.18	18	14	3	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第65号～67号、69号～74号	2.18	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第68号	2.18	18	16	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第55号	3.3	18	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第56号～61号、75～76号	3.3	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

●本会議出欠状況及び審議結果一覧（4月会議）

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数 △	賛成 △	反対 △	議決結果 △	石森 靖明	伊東 潤	吉田 清	小田部 峰之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久間 光洋	平岡 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々木 裕子	広沢 真	白内 恵美子	平岡 奈緒美	高橋 たい子
本会議	各種選挙等、補正予算	4.1	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	議案番号	月日	出席者数 △	賛成 △	反対 △	議決結果 △	石森 靖明	伊東 潤	吉田 清	小田部 峰之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久間 光洋	平岡 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々木 裕子	広沢 真	白内 恵美子	平岡 奈緒美	高橋 たい子
審議結果	議案第1号	4.1	17	15	1	選任同意	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第2号	4.1	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

○議案等の内容

1月会議	
議案第51号 令和元年度榎木中学校西校舎・体育館大規模改造工事（繰越明許） （建築工事）請負変更契約 14ページ	議案第53号 財産の取得（デジタル防災行政無線戸別受信機） 議案第54号 令和2年度柴田町一般会計補正予算 新型コロナウイルス対応 地方創生臨時交付金事業など 3億1,018万1千円の増額補正
議案第52号 財産の取得（3Dプリンタ） 14ページ	
2月会議	
議案第55号 令和3年度柴田町一般会計予算 4ページ～11ページ	議案第66号 柴田町手数料条例の一部改正
議案第56号 令和3年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算	議案第67号 柴田町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正
議案第57号 令和3年度柴田町介護保険特別会計予算	議案第68号 柴田町介護保険条例の一部改正 12ページ
議案第58号 令和3年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算	議案第69号 令和2年度柴田町一般会計補正予算 13ページ
議案第59号 令和3年度柴田町土地取得特別会計予算	議案第70号 令和2年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算
議案第60号 令和3年度柴田町下水道事業会計予算	議案第71号 令和2年度柴田町介護保険特別会計補正予算
議案第61号 令和3年度柴田町下水道事業会計予算	議案第72号 令和2年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算
諮問第3号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	議案第73号 令和2年度柴田町下水道事業会計補正予算
議案第62号 固定資産評価審査委員の選任	議案第74号 令和2年度柴田町下水道事業会計補正予算
議案第63号 固定資産評価審査委員の選任	議案第75号 柴田町国民健康保険条例の一部改正
議案第64号 柴田町景観条例 12ページ	議案第76号 令和2年度柴田町一般会計補正予算
議案第65号 柴田町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正	議決第4号 柴田町議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正 13ページ
4月会議	
議案第1号 監査委員の選任について 2ページ	議案第2号 令和3年度柴田町一般会計補正予算 14ページ

議員が聞いた町政への 一般質問

2月会議では、議員18人中13人が質問しました。

平間奈緒美 議員 齊藤博記念文庫の資料展を P16

- 施設予約方法を検討しては
- 桜の下でフォトウエディングを

白内恵美子 議員 図書館長として専門家の招聘を P19

- コロナ禍で子どもの最善の利益を
- 第3次補正予算の多様な活用を

舟山 彰 議員 避難所確保はいかに P17

- この4年間質問したことの確認を
- 本当に町民を豊かにするには

安部 俊三 議員 町スポーツ推進計画の見直しは P19

広沢 真 議員 PCR検査の対象拡大を P20

- 町税の納期を年金支給月に

吉田 和夫 議員 新型コロナワクチンの接種体制は P17

- パルスオキシメーターの準備を

秋本 好則 議員 災害時の施設での電力利用は P20

- 温室効果ガス抑制の方法と理由は

加藤 滋 議員 防災ラジオの有効活用を P17

森 淑子 議員 桜の管理育成は P18

佐々木裕子 議員 ワクチン接種会場への移動手段は P18

- 下水道使用料賦課漏れ徴収状況は

森 裕樹 議員 事業者へさらにコロナ対策支援を P18

- ご遺族手続き支援コーナー設置を

平間 幸弘 議員 消防団員の定数見直しは P19

- サイン計画の推進を
- 上水道の状況と課題解決を

有賀 光子 議員 おくやみコーナーの設置を P20

- 不育症検査に助成制度を

新型コロナウイルス対策に伴う一般質問について

◇ 2月会議での一般質問の取り扱いは、次のとおりとなりました。

- ・ 一般質問は自粛とする。ただし、一般質問をする場合でも、議場での通告書及び答弁書の読み上げはしない。
- ・ 答弁に対して質問したい事項があれば、議長あてに文書で通告する。(再々質問まで)

一般質問などの内容は、QRコードからご覧いただけます。

※ 2月会議分は、6月末日まで公開します。



Q 齊藤博記念文庫の資料展を

A 展示公開は実施したい

平間奈緒美 議員



しばたの郷土館にある 齊藤博記念文庫

問 齊藤博記念文庫は、開館してから17年が経過している。齊藤博記念文庫の図書館と郷土館の連携体制は。

答 蔵書点検などの蔵書管理は図書館が行い、修繕や光熱費などの建物の維持管理に関する経費は郷土館で予算措置している。

問 維持管理体制は。

答 資料の燻蒸は、令和3年度実施の予定。貴重な書籍や資料なので、今後、古書の専門家から劣化防止の方法について助言を受け、図書館と郷土館で協議し、管理していく。

問 町独自として研究し、資料展を行うべきでないか。

答 適切な保存・管理を行ったうえで、調査・研究し、その結果を展示・活用するといった段階がある。展示公開は、齊藤博先生の知の遺産のさらなる活用として、ぜひ実施したいと考えている。



舟山 彰 議員

Q 避難所確保はいかに

A 最大 22 力所の避難所を開設



避難所にもなる新体育館建設予定地

問 以前「柴田町地域防災計画」により、指定避難所 22 力所の収容人数を合計すると 6 千 440 人になる。新体育館は、現時点では合計 460 人と想定している」との答弁があった。コロナ対策で余計に面積を取る必要があるうえ、今後も大雨の危険性が予想される。防災拠点となるべき新体育館の完成も遅れるとなると、避難所の収容人数対策はどうなるのか。

答 今後は、台風 19 号を超える大雨が降り、水害が発生する恐れがある場合には、コロナ禍であることを考慮して、優先避難所をまず 9 力所開設し、その後順次追加しながら、最大 22 力所の避難所を開設する計画としている。町民全員の避難所を、町だけで用意することは困難である。



吉田 和夫 議員

Q 新型コロナワクチンの接種体制は

A 集団接種できるよう準備する

問 新型コロナワクチンの接種体制は。

答 本町の 65 歳以上は 1 万 1 千 928 人であり、短期間に実施する必要があることから、船迫生涯学習センターで集団接種できるよう準備を進める。

問 槻木地区での接種はできないか。

答 槻木生涯学習センターは、1 階のスペースのみでは、会場設営ができない。

問 車のない方や、槻木地区の人たちの輸送手段は。

答 シャトルバスの運行を検討している。家族の送迎などの協力もお願いしていきたい。

問 町民に対しての啓発は。

答 クーポン券にチラシを同封する。また、予防接種の予約や会場については、チラシの全戸配布とホームページへの掲載やメール配信を行い、随時情報を発信する。



Q 防災ラジオの有効活用を

A 地区ごとに説明会を開催



加藤 滋 議員



問 1 月会議で、防災ラジオの購入の議案があった。75 歳以上の単身の高齢者や身体障がい者を対象として、1 千 50 台を貸与するものであるが、貸与方法に疑問がある。

答 対象者には貸与の希望を取り、地区ごとに説明会を開催し、その場で貸与する予定である。

問 1 千人を超える対象者には、自ら早期避難を判断し行動になげられる方と、そうではない方がいる。その対応は。

答 貸与する対象者が、必ずしも適切な避難行動に結びつけるとは限らないが、身を守るための重要な情報を受け取るチャンネルをひとつでも多く持っていることも必要と考える。

問 援助が必要な方の分は、機動的な体制の取れる組織に。

答 それには、地域の自主防災組織の協力が不可欠となる。



森 淑子
議員

Q 桜の管理育成は

A 毎年、再生管理実験を実施



害虫から桜の木を守る

問 白石川堤と船岡城址公園にアカゲラやコゲラのようなキツツキの仲間が増えている。木の幹の中にいる幼虫を食し、「森の番人」とも呼ばれる益鳥である。これら名所の桜の木は、虫による被害も大きい状況にあり対策が必要ではないか。

答 平成25～26年に柴田の桜100年計画を策定した。白石川堤は、河川法により新たに植栽ができないため、「守り育てる桜」ゾーンとして再生管理実験などを実施している。

問 白石川堤と船岡城址公園の桜は大河原町と一体のものである。桜の管理育成について、大河原町と情報交換、連携はできているのか。

答 大河原町とはこれまでも病害虫が発生した場合、薬剤散布時期などの情報を共有してきた。引き続き連携を図り、桜の維持・保存に努める。

Q ワクチン接種会場への移動手段は

A シャトルバスの運行を検討



佐々木裕子
議員

問 接種場所は。

答 船泊生涯学習センターでの集団接種を考えている。

問 接種後の様子を見る場所が必要となるが、町の対応は。

答 接種会場内の経過観察スペースで待機し、看護師が観察。

問 医師や看護師の確保は。

答 町医師団と2月中に協力体制を構築予定。看護師も、医療機関で勤務経験のある方に声をかけを行い、必要な人数を確保。

問 会場に来られない方への移動手段は。

答 シャトルバスの運行を検討。家族などの協力や、はなみちちゃんGOの利用などをお知らせする。障害福祉サービスで同行支援、行動支援などの移動支援の利用を併せて周知する。

問 短時間で悪化にいたるアナフィラキシーなどの対応策は。

答 医師が応急処置後、医療機関へ搬送。*エピペンなども準備。



5月から接種開始

*エピペンとは=アナフィラキシーに対する緊急補助治療に使用される医薬品

Q 事業者へさらにコロナ対策支援を

A 交付金などを活用し、詳細を検討



森 裕樹
議員



飲食店でのコロナ対策

問 新型コロナウイルス感染症は収束が見えず、子育て環境や教育環境、経済活動などの自粛を余儀なくされ、生活にも大きな支障をきたしている。

本町では、独自の施策として事業者への家賃補助や国の給付金に上乗せした支給などを行ったが、中小企業・個人事業主はまだまだ深刻な状況にある。特に飲食業者は切迫した状況にあり、デリバリーやテイクアウトを導入したり、貸切り営業を取り入れるなど知恵を絞り頑張っている。休業や倒産、廃業が広がる前にスピード感を持った新たな支援が必要と考えるが、町の考えは。

答 新型コロナウイルス感染症対応の、国の交付金や県の補助金を活用し詳細を検討していく。10万円から20万円の支援金の給付を考えている。

Q 消防団員の定数見直しは

A 地域の実情を精査し検討する

平間 幸弘
議員



消防団員募集中！

問 消防団員の定数は適正か。
答 昭和41年に制定した条例定員から変わっていない。今後、見直しも必要になると考える。

問 見直しを考えているのであれば、条例の改正など早急に対応すべきでは。また、役場職員が率先して消防団員になり活動している自治体もあるが。

答 現状の消防団員数や団員確保の問題は、地域の実情に応じた必要数などを精査し検討すること、近隣市町で実施している状況を研究し、判断していく。

問 団員に入る報酬などはあくまで個人に支払われるものであり、班の運営費をそこから徴収して捻出するのは違うのでは。

答 非常勤の特別職地方公務員であり、町から事務費等の補助金を支出することはできない。今後、事務費などの経費配分について消防団へ提案していく。



白内恵美子
議員

Q 図書館長として専門家の招聘を

A 体育館建設が決まり次第検討する



福島県白河市立図書館

問 最近では図書館が健康寿命延伸に大きな役割を果たすと言われていて。何歳になっても好奇心を持ち活動することが脳を刺激し、図書館を核とした社会的活動が体を動かすことにつながる。図書館建設が5年後10年後になれば、健康寿命延伸が遅れてしまう。医療や介護費用の増加を考えると、早く図書館を建設する方が財政にプラスとなる。建設計画を前進させる人材を、早い段階で館長として招聘、または公募することを提案する。

答 総合体育館の建設が決まり次第、新図書館建設検討委員会を立ち上げ、図書館長の招聘を含め検討し、議会の判断を仰ぐ。

問 図書館建設には、企業版ふるさと納税の活用が最も効果的に財源確保できる。町長はセールスに努めるべきでは。

答 歳入を増やす一つの方法であり、今後検討していく。

Q 町スポーツ推進計画の見直しは

A 5月以降に見直し案を検討

安部 俊三
議員



問 これまでの5年間、スポーツ活動の推進を、柴田町スポーツ推進計画に照らし合わせた場合、現況をどう捉えているか。

答 計画に定めた基本方針に沿ってスポーツ施策を進めてきた。町民のスポーツに関するアンケート調査を実施、結果の集計、取りまとめを行っているが、計画を見直すための検証を進める。

問 推進計画の見直しは、いつ行うのか。その場合、どのようなことが対象となるのか。

答 策定委員会を設置し、5月以降に見直し案の検討に入りたい。総合体育館建設に係る整備手法についても意見を伺う。

問 計画的に総合体育館の基本方針が明記されているが、進められている建設計画内容に網羅されていると考えて良いか。

答 多くの意見交換を経ての本設計なので網羅されている。



広沢 真 議員

Q PCR検査の対象拡大を

A 県に要望していく



感染防止対策中

問 今後、財政措置があれば、社会的PCR検査を行うべきと考えるがどうか。

答 県の取り組みとして「受診・相談センター」「かかりつけ医」を通じた検査が定着している。社会的検査を行うには、保健所の取り組みを適切にフォローするシステムが必要になり現時点では難しい。今後、県に要望していく。

問 自宅待機者の事態の悪化を想定し、食料配布などの準備をしておくべきではないか。

答 現在まで仙南保健所内で自宅待機者は出ていない。今後待機者が出た場合には、仙南保健所から県に連絡し自宅療養者に食料、日用品など一週間分が届けられるようになっている。自宅待機者の情報は、県から町に対しては報告されないため、町での取り組みは困難だ。



秋本 好則 議員

Q 災害時の施設での電力利用は

A 太陽光発電と発電機を運用する



災害時の電源確保を

問 災害時の避難場所になる公施設での太陽光発電の利用は。

答 供給電力は、避難スペースやトイレ、通路照明、テレビ受信機器の運用と最低限に限られており、外部コンセントはそれらのために運用される。

問 庁舎の太陽光発電の利用は。

答 非常用自家発電機は、消防設備にのみ電力を供給する。太陽光発電の電気は、通信・OA機と照明に使われる。

問 充電ステーションの設置は。

答 個人の携帯電話への充電ステーションは、想定していない。

問 庁舎へ住民が集まる時、住民は情報難民になる。非常用発電装置と電力供給可能なバッテリーが必要ではないか。

答 役場庁舎は避難所ではない。災害時には太陽光発電やポータブル発電機で本部機能を維持する。停電時は大型発電機をレンタルすることも想定している。

Q おくやみコーナーの設置を

A ワンストップでの手続き支援検討



有賀 光子 議員



ワンストップサービスを

問 住民の死亡に伴う手続きを、ワンストップで担うおくやみ窓口を設置する動きが自治体の間で徐々に広まっている。町でも導入してはどうか。

答 各課へ出向くことが困難なご遺族の方には、職員自らが町民環境課へ出向いての対応を行っている。今後は、町民環境課窓口を担当職員を新たに配置し、担当相談員がワンストップで手続き支援ができるよう、おくやみコーナー的なものの設置を検討する。

問 おくやみコーナー的なものの設置とはどういうものか。

答 死亡関係の手続きは、専門の職員がワンストップで対応するスペースを窓口に掲示する。

問 ワンストップで手続きできると思っているのか。

答 役場内の手続きは、関係各課との連携を図り、ワンストップで対応できるよう改善する。

自治功労者表彰

全国町村議会議長会表彰
宮城県町村議会議長会表彰
(15年以上在職)

○水戸 義裕 議員
○広沢 真 議員

仙南地方町村議会議長会
表彰(11年以上在職)

○森 淑子 議員
○安部 俊三 議員
○高橋たい子 議員
○佐々木裕子 議員
○平間奈緒美 議員



全国特別表彰 柴田町議会

令和3年2月9日全国町村議会議長会より、地域の振興発展及び住民福祉の向上のため、議会の活性化に積極的に取り組んできた功績が評価され、全国で唯一、特別表彰を受賞しました。

これからも、本町の発展のため、議会と行政が一丸となって取り組んでいきます。

宮城県町村議会広報選考会

柴田町議会だより168号

初めての
特選



安藤 義憲 委員 平間 幸弘 委員 森 裕樹 委員 吉田 和夫 委員
平間 奈緒美 委員 森 淑子 委員長 加藤 滋 副委員長

令和2年度宮城県町村議会広報選考会におきまして「しばた議会だより168号」(令和2年5月1日号)が『特選』に選ばれました。
町民の皆様が読みやすい紙面づくりを目指し、議会広報常任委員会全員のスキルを高めて励んでおりました。今後もさらに読みやすい紙面づくりに、全力で取り組んでいきます。

会活動報告

ます。結果は？成果は？

共通項目

- ① 年間活動テーマ
- ② 委員会で取り上げたいとして計画書に掲げた調査事項
- ③ 成果及び反省

総務 常任委員会

- ① 住みたくなるまちに向けて
- ② ・柴田町で今からできる移住、定住促進策について
 - ・公共施設等総合管理計画について（個別施設計画策定状況）
 - ・防災対策について
- ③ ・取り上げるべき調査事項については、おおむね調査を行うことができた。
 - ・移住定住対策、人口減少対策について、提言書としてまとめることができた。
 - ・水害時の対策や車の避難については、次年度以降も引き続き注視していく。
 - ・次年度は、今年度の提言書に対する執行部の対応の検証を行い、人口減少対策の重要性をさらに強調して引き続き調査していく。



災害後の土のうの補充状況確認

文教厚生 常任委員会

- ① 健康寿命の延伸について
- ② ・子どもの命を守る対策について
 - ・障がい者に対する施策について
- ③ ・先進地視察、住民との懇談会などを踏まえて「町民の健康寿命延伸に関する提言書」を出すことができた。なお、委員全員で町で実施している家トレ30に4か月間取り組み、健康のための運動を自らが実践した。
 - ・「子どもの命を守る対策について」「障がい者に対する施策について」も調査する予定であったが、コロナ禍もあり、調査をすることができなかった。



食生活改善・健康推進・介護予防団体との懇談会

産業建設 常任委員会

- ① まちのにぎわい創生
- ② ・商店街の振興 ・農村地域の振興
 - ・人材の育成 ・移住定住促進
- ③ ・「まちのにぎわい創生」の言葉からイメージする将来ビジョンは委員それぞれ異なっているが、今後は「人材の育成・確保の重要性」を加えた視点で、議会としても助言・提言できるような委員会活動をしていく。
 - ・商店街の振興 各種補助金等を利用したの活性化策に刺激を受けた萌芽がみられることから、今後の展開について継続して注視していく。
 - ・農村地域の振興及び移住定住促進 コロナ禍の影響があり十分な調査を行うことができなかった。



令和元年台風19号災害復旧状況確認

令和2年度委員

各委員会は年間テーマを設けて活動してい

今回、2年間活動した成果が総務、文教厚生各常任委員会から提出され、全員協議会での議員間討議を経て2つの提言書をまとめました。この提言書は議長から町長に提出しました。

移住定住促進についての提言書

背景と現状

本町でも転入者、出生者数が増加する要因が見られないため、今後、人口減少はさらに続くと思われる。

課題

- 1 人口減少対策への町の具体的な施策が見えないこと
- 2 移住定住対策のターゲットが明確でないこと
- 3 町の魅力についてのPR不足
- 4 移住定住対策のための不動産情報の収集、共有、発信の不足

提言

- 1 人口減少対策のための体制を構築すること
- 2 移住定住対策のターゲットをしぼった事業を展開すること
- 3 町の魅力を様々な媒体を活用し、一層PRすること
- 4 宅地建物取引業協会と連携すること



先進地視察

町民の健康寿命延伸に関する提言書

現状

増え続ける社会保障費を抑制するためには、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」である健康寿命を延伸し、できる限り医療費や介護給付費を低減していくことが求められる。そのためには疾病予防や介護予防の観点から生活習慣を改善し、健康増進を図ることが最も重要であり、若い時期から取り組む必要がある。

住民等との意見交換の結果と考察

- 1 町では様々な事業を行っているが、住民に知られておらず、PRの工夫が必要
- 2 長年継続している事業や活動でも、中心となるリーダーが高齢化している状況にある
- 3 町事業への男性の参加が少ない
- 4 事業や地域活動へは性格や若い時からの習慣も影響するとの意見もあり、若い時期からの働きかけが重要

提言

- 1 しばた健康づくりポイント事業の改善
- 2 からだ測定会の拡大
- 3 「健幸アンバサダー」の養成
- 4 男性の参加を促すための仕組みづくり
- 5 「歩くまち」の推進
- 6 まちづくりの視点から全庁・全町体制での健康づくり施策の推進



先進地視察

柴田高校生徒会

私達柴田高校生徒会は、「柴田高校の未来をよりよくするために、自分たちが生徒の声を聞き、行動に移す」をスローガンとして活動しており、先輩・後輩の仲が良く、とてもおもしろいメンバーがそろっています。

主な活動は、柴高生の代表として、生徒総会や賞状伝達式などの学校行事の運営を行っています。また、このたび春の選抜甲子園に出場することになった野球部を応援するために、全校生徒に声をかけて千羽鶴で「夢実現」の文字を制作しました。甲子園の舞台に持って行くつもりです。

最近新型コロナウイルスの影響で、以前から柴田町内で行っていたボランティア活動等が実施できず、柴田町の方々と直接お会いする機会が少なくなって残念に思います。

私達なりに「今しか出来ない事」や「今だから出来る事」を見つけながら、校内外でがんばっていくつもりです。そして、より良い柴田町、柴田高校のために貢献していきたいと思っています。

サークル紹介

町内で活動しているサークルを紹介します



山口 大成 さん 2年 生徒会副会長
生徒会では学校行事の運営などを積極的に行っています。今後も学校のために全力を尽くして活動していきたいと思っています。

齋藤 百花 さん 3年 生徒会副会長
柴田高校が町民の皆さまに愛され、応援していただけるような学校になれるように、精一杯がんばります。よろしくお願ひします。

栗原 花歩 さん 3年 生徒会長
自分たちが積極的に動くことによって、生徒の声が反映される学校にしたいと思っています。よろしくお願ひします。

お詫びと訂正 令和3年2月1日しばた議会だより第171号の13ページ柴田高校×柴田議会の部活動紹介「家庭部 部長の氏名」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。 (誤)部長 古閑麗未さん (正)部長 小関麗未さん

編集を終えて
白石川堤や山々が春色に染まる季節の中、町内でも入学式や入社式など新たなスタートの時節ですが、相変わらずのコロナ禍で、私たちの行動が制限され、桜の名所に咲き誇る桜が……。残念でなりません。
今回から、新たなメンバー(4人)が加わり、一からの作業に悪戦苦闘しながらも、読みやすく分かりやすい内容に精一杯取り組みました。お手元に届きましたら、ご感想・ご意見をぜひお聞かせいただければと思います。
(加藤 滋)



議会広報常任委員会

委員長	加藤 滋	委員	吉田 清
副委員長	平間 幸弘	委員	小田部峰之
委員	石森 靖明	委員	平間奈緒美
委員	伊東 潤		

新たな顔ぶれ、
新体制のスタート

6月会議の予定

6月会議は **6月7日**(月)
午前9時30分開会予定

※新型コロナウイルス感染症の状況により、日程は流動的です。
詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会ネット中継

議会生中継・録画放映をQRコードから
見ることができます。



柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください